

インマヌエル中目黒キリスト教会

2015年7月19日聖日礼拝

使徒の働き連講57

「壮大な宣教ビジョン」

使徒の働き19章21節-41節

竿代照夫牧師



聖書朗読

新約聖書

使徒の働き 19章 21節 - 41節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp245 ~ / 第三版の聖書はp267 ~

- 21 これらのことが一段落すると、パウロは御霊の示しにより、マケドニヤとアカヤを通ったあとでエルサレムに行くことにした。そして、「私はそこに行ってから、ローマも見なければならぬ」と言った。
- 22 そこで、自分に仕えている者の中からテモテとエラストのふたりをマケドニヤに送り出したが、パウロ自身は、なおしばらくアジアにとどまっていた。
- 23 そのころ、この道のことから、ただならぬ騒動が持ち上がった。

- 24 それというのは、デメテリオという銀細工人
がいて、銀でアルテミス神殿の模型を作り、
職人たちにかかなりの収入を得させていたが、
- 25 彼が、その職人たちや、同業の者たちをも
集めて、こう言ったからである。「皆さん。ご承
知のように、私たちが繁盛しているのは、この
仕事のおかげです。
- 26 ところが、皆さんが見てもいるし聞いてもい
るように、あのパウロが、手で作った物など神
ではないと言って、エペソばかりか、ほとんど
アジア全体にわたって、大ぜいの人々を説き
伏せ、迷わせているのです。

- 27 これでは、私たちのこの仕事も信用を失う危険があるばかりか、大女神アルテミスの神殿も顧みられなくなり、全アジア、全世界の拝むこの大女神のご威光も地に落ちてしまいそうです。」
- 28 そう聞いて、彼らは大いに怒り、「偉大なのはエペソ人のアルテミスだ」と叫び始めた。
- 29 そして、町中が大騒ぎになり、人々はパウロの同行者であるマケドニヤ人ガイオとアリストタルコを捕らえ、一団となって劇場へなだれ込んだ。

- 30 パウロは、その集団の中に入って行こうとしたが、弟子たちがそうさせなかった。
- 31 アジヤ州の高官で、パウロの友人である人たちも、彼に使いを送って、劇場に入らないように頼んだ。
- 32 ところで、集会は混乱状態に陥り、大多数の者は、なぜ集まったのかさえ知らなかったもので、ある者はこのことを叫び、ほかの者は別のことを叫んでいた。
- 33 ユダヤ人たちがアレキサンデルという者を前に押し出したので、群衆の中のある人たちが彼を促すと、彼は手を振って、会衆に弁明しようとした。

- 34 しかし、彼がユダヤ人だとわかると、みなの方がいっせいに声をあげ、「偉大なのはエペソ人のアルテミスだ」と二時間ばかりも叫び続けた。
- 35 町の書記役は、群衆を押し静めてこう言った。「エペソの皆さん。エペソの町が、大女神アルテミスと天から下ったそのご神体との守護者であることを知らない者が、いったいいるのでしょうか。
- 36 これは否定できない事実ですから、皆さんは静かにして、軽はずみなことをしないようにしなければいけません。

- 37 皆さんがここに引き連れて来たこの人たちは、宮を汚した者でもなく、私たちの女神をそした者でもないのです。
- 38 それで、もしデメテリオとその仲間の職人たちが、だれかに文句があるのなら、裁判の日があるし、地方総督たちもいることですから、互いに訴え出たらよいのです。
- 39 もしあなたがたに、これ以上何か要求することがあるなら、正式の議会で決めてもらわなければいけません。

- 40 きょうの事件については、正当な理由がない
のですから、騒擾罪に問われる恐れがあります。
その点に関しては、私たちはこの騒動の
弁護はできません。」
- 41 こう言って、その集まりを解散させた。

説教

使徒の働き連講57

「壮大な宣教ビジョン」

使徒の働き19章21節-41節

竿代照夫師

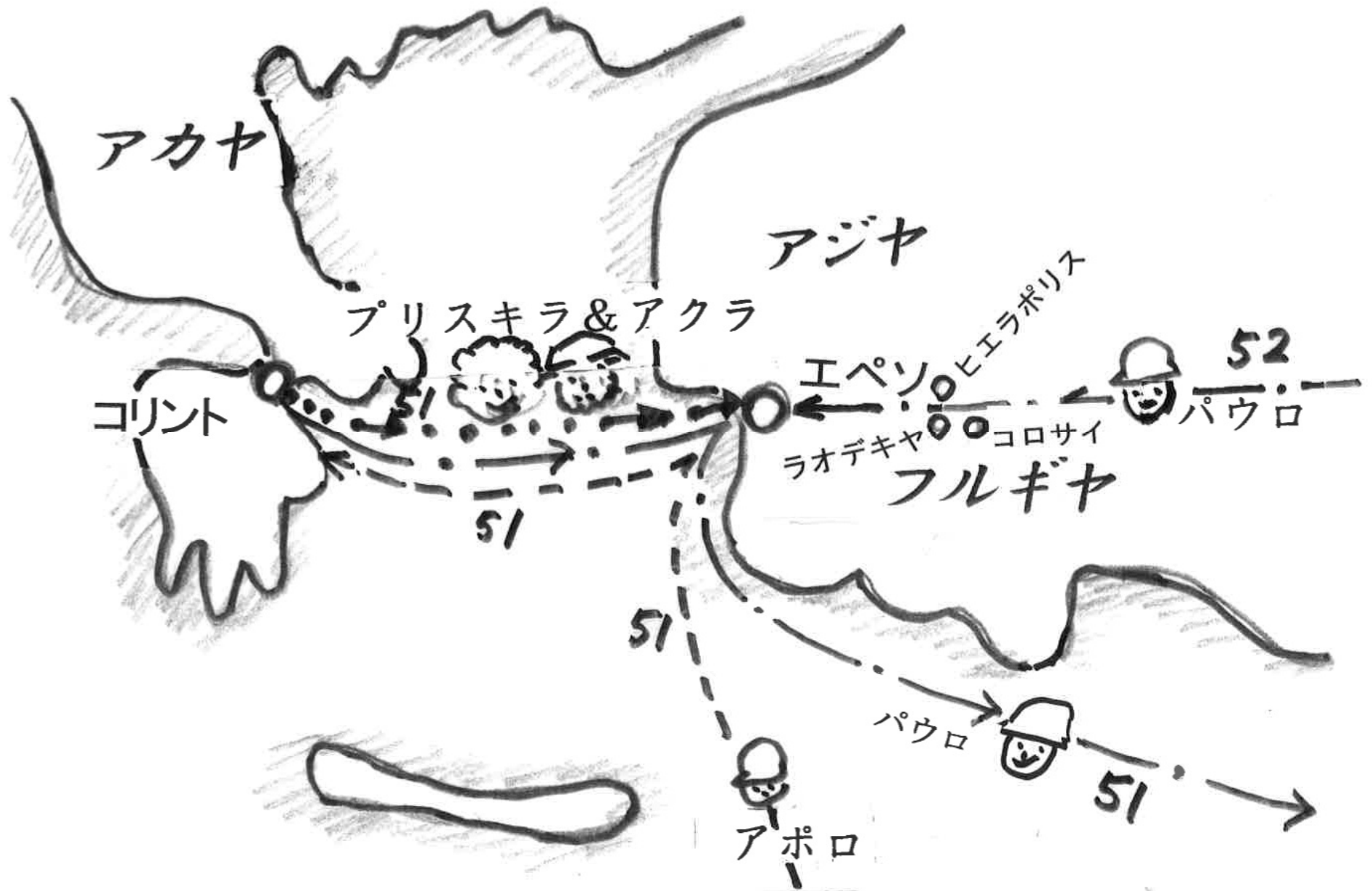


主テキスト

「私はそこ(エルサレム)に行ってから、
ローマも見なければならぬ。」

(使徒の働き 19 : 21)

前回のテーマ:パウロのエペソ伝道(地図 参照)



A . パウロの計画 (2 1 - 2 2 節)

- ・御霊の示し：
人間的計画ではなく、祈りと熟慮の後に
- ・マケドニヤ (ピリピ、テサロニケ) とアカヤ (コリント) を再訪して強化
- ・エルサレムへの帰還 : 支援献金の目的：
貧しい人々を助ける
異邦人教会の感謝を表す
ユダヤ人信徒・異邦人信徒の一致の証し
- ・次の目標 : ローマ (詳細は後述)
- ・テモテとエラストの派遣：
コリント教会矯正のため (1 コリント 1 : 1 7)

B . デメテリオ騒動 (2 3 - 4 1 節)

1 . 発端 (2 3 - 4 1 節)

- ・ 銀細工人の親方デメテリオが「営業妨害」に抗議
(神殿の遺跡写真、アルテミス像写真)
- ・ アジ演説で騒動が始まる

アルテミス神殿遺跡



アルテミス像



2. 発展(29 - 34節)

- ・劇場での大集会と混乱
- ・アレキサンデルの努力も虚しく

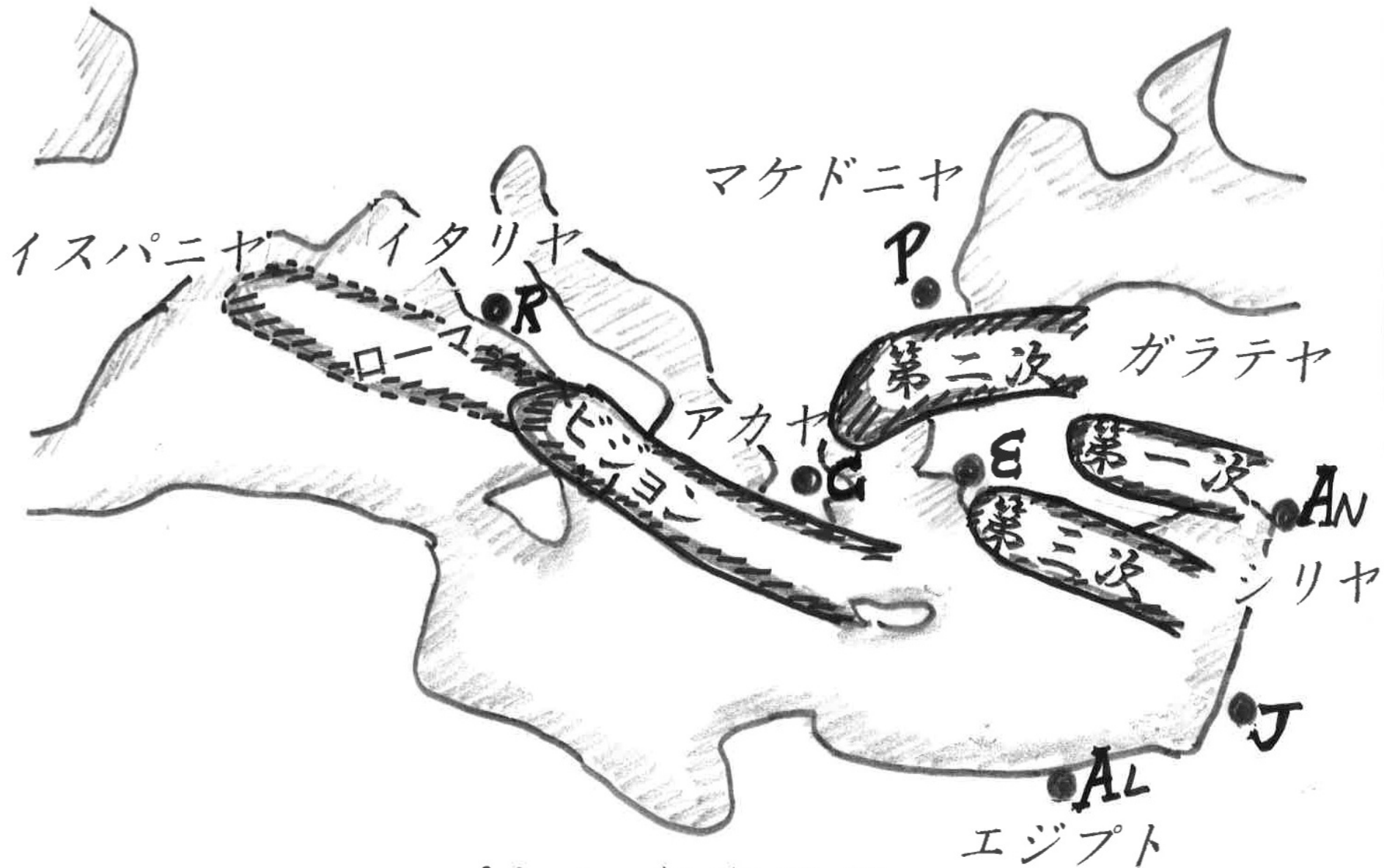
3 . 鎮静 (3 5 - 4 1 節)

- ・書記役の賢い発言

- ・集会の解散

C. パウロの壮大な計画とビジョン(地図 参照)

- ・三回に亘る伝道旅行総括:
 - 働くべき所がなくなった(ローマ15:20)
- ・ローマ行き願望:
 - 霊的賜物を分け与えるため
 - 互いの交わりのため
 - 世界の中心で福音の力を実証するため
(ローマ1:11 - 13、16)
- ・スペインへのビジョン:
 - 西の果て(地の果て)まで福音を伝えたい
 - ローマ文明開拓地から福音を広めたい
- ・ビジョンの実現:
 - パウロ計画通りではなかったが、より良い形で実現



パウロの伝道旅行

終わりに

私たちのビジョンは何かを捉え、
そのために生きよう